

(株)SRAホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、2020年3月期 第3四半期決算を発表しました。

併せて、「特別損失(減損損失)の計上および業績予想の修正のお知らせ」、「決算付属資料」、「2020年1月月次売上高速報」も発表しました。

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

〔2020年3月期 第3四半期業績(連結) 前年同期比〕

■売上高=増収

■収益=「粗利益」、「営業利益」、「経常利益」が増益。「四半期純利益」は減益

◎売上高:310億6百万円(3.9%増)

・開発事業(3.1%減):サービス業が増加したものの、製造業および金融業が減少

・運用・構築事業(8.3%増):企業向けおよび大学向けが増加

・販売事業(13.2%増):AIT、SRA、海外子会社の機器販売が増加

◎粗利益:67億56百万円(2.8%増)

◎販売管理費:35億94百万円(6.1%減)

◎営業利益:31億61百万円(15.4%増) 営業利益率:10.2%(前年同期9.2%)

◎経常利益:33億16百万円(7.9%増) 経常利益率:10.7%(前年同期10.3%)

◎四半期純利益:△13億21百万円

主な要因:特別損失(投資有価証券評価損および固定資産の減損損失)の計上

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

〔2020年1月月次売上高〕

(株)SRA=年度末に向け、効果の出始めたりカバリープランを継続して実行

(株)AIT=好調に進捗

国内子会社=いずれも堅調に進捗

海外子会社=起伏はあるものの、全体としては堅調

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2019.html

第3四半期の業績は、売上高が前年同期比で3.9%の増収となりました。

粗利益は、利益率向上施策の推進により増益となりました。

また、販管費の効率化にも努めた結果、営業利益が継続して増益となり、経常利益も増益となりました。

四半期純利益は、投資有価証券評価損(評価は「四半期洗替え法」を採用)および

固定資産(海外連結子会社 Cavirin Systems, Inc. のソフトウェア資産)の減損損失を

特別損失に計上した為、13億21百万円の損失となりました。

投資有価証券の評価は、2020年3月期末(2020年3月31日)の株価により、今回計上した投資有価証券評価損の計上額が変わる場合や評価損を計上しない場合があります。

第3四半期に、新たに固定資産の減損損失を計上したことにより、当期純利益が減少する見込みであるため、通期連結業績予想(当期純利益)を修正しました。

なお、今回の損失はキャッシュアウトを伴わないことから、配当予想は変更いたしません。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。